

1. 委員長・副委員長の選出

- ・委員長・副委員長の選出方法について意見がなければ事務局案を提案することで了承。
- ・委員長には文化団体協議会推薦されている坂本委員、副委員長には校長会から推薦された近藤委員を推薦。
- ・事務局案を各委員に諮り、承認される。
- ・近藤委員には事後になるが承諾を頂くこととする。

2. 委員長あいさつ

- ・大切なお金をどのように使い、国際交流をどのように進めていくのか、各委員の意見を頂きながら進めていきたい。ご協力をお願いしたい。

3. 報告事項

2件の国際交流事業について報告。

- ①ニュージーランドラグビーキャンププログラム
- ②日本詩吟吟舞国際大会参加

【委員】

- ・昨年度の委員会に出席したので内容についてだいたい理解している。
- ・子どもたちの報告書には「両親と富良野市に感謝」の一文がある。
- ・昨年 of 市長報告の際、子供達は大変喜んで報告をしていた。また、別の機会に詩吟吟舞の団体の方と話したが、有意義であったと話していた。

4. 議 事

4件の国際交流事業について審査。

- ①ニュージーランド ラグビーキャンプ プログラム (3件)

【事務局】

- ・事務局より申請の内容について説明
- ・1件当たりの事業の総額は326,660円であるが、旅行保険料3,900円は対象外の経費である。
- ・見積書の内容で、旅行料金の中に食事代と現地ガイドの費用(対象外経費)が含まれると考えられる。その費用は帰国後に精算されることから、今回の審査会では補助金の支出の可否について審査していただき、補助金の金額は帰国後の精算により決定をしたい。この点についても審議していただきたい。
- ・補助金は仮の金額として163,000円としたい。

【委員】

- ・昨年の報告書を読んでも、大変有意義なラグビーキャンプであったことが伺える。

【委員】

- ・国際交流は大変いい機会である。昔は海外に出ることがあまりなかったので、いい経験になると思う。

【委員長】

- ・反対意見がないので本件は可とする。

- ・補助金の金額は帰国後に精算することになる。この点について委員の承認を願いたい。
→承認
- ・ぜひいい経験を積んできてもらいたい。

5. その他

【事務局】

- ・国際交流補助金の予算について、平成25年度分は1,000千円の予算を確保している。
- ・年度中に他の補助金申請が出てくる予定は、今のところない。

【委員】

- ・過去には、小学生の低学年の申請もあったが、委員会の中で国際交流の補助金の効果に疑問があったことから対象年齢を引き上げた経過がある。その後あまり申請が出てきていない。
- ・大切なことは、研修から帰ってきた後で、その成果を富良野市にどのように還元してくれるのかが重要である。
- ・富良野市のために活動してくれる方に利用してほしい。

【事務局】

- ・審査委員会は不定期の開催となる。補助金の申請が出された時点で開催となることをご理解頂きたい。